

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年3月6日
【四半期会計期間】	第49期第1四半期（自平成26年10月21日 至平成27年1月20日）
【会社名】	株式会社オリバー
【英訳名】	OLIVER CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 大川 博美
【本店の所在の場所】	愛知県岡崎市藪田一丁目1番地12
【電話番号】	(0564)27-2800(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役副社長 管理本部長 中根 研吉
【最寄りの連絡場所】	愛知県岡崎市藪田一丁目1番地12
【電話番号】	(0564)27-2800(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役副社長 管理本部長 中根 研吉
【縦覧に供する場所】	株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第48期 第1四半期連結 累計期間	第49期 第1四半期連結 累計期間	第48期
会計期間	自平成25年10月21日 至平成26年1月20日	自平成26年10月21日 至平成27年1月20日	自平成25年10月21日 至平成26年10月20日
売上高 (千円)	4,652,872	5,048,944	22,830,491
経常利益 (千円)	351,311	525,702	2,648,792
四半期(当期)純利益 (千円)	153,928	285,689	1,550,732
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	570,863	760,272	1,957,073
純資産額 (千円)	21,427,818	23,369,680	22,708,990
総資産額 (千円)	30,051,789	31,795,925	32,151,054
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	15.08	28.00	151.96
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	62.2	64.5	61.9

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1)業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行による経済政策や金融緩和政策により企業業績や雇用環境には改善がみられましたが、消費税増税後の個人消費の低迷や新興国経済の成長鈍化、円安による原材料価格の高騰など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境の中、当社グループは『収益向上・安定的な成長』の方針のもと当社の得意とするソリューション提案型営業を一層推進し新市場創出、各事業分野でのシェア拡大に努めてまいりました。

また、2015年総合カタログ発刊に際しても特徴ある新製品を数多く開発し、高付加価値製品の販売に注力して収益性の向上に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績は、売上高が5,048百万円（前年同期比8.5%増）、営業利益は435百万円（同66.2%増）、経常利益は525百万円（同49.6%増）、四半期純利益は285百万円（同85.6%増）となりました。

主なセグメントの業績は以下のとおりであります。

#### 家具・インテリア事業

家具・インテリア事業につきましては、消費税増税の駆け込み反動減による影響がみられたものの引続き施設インテリア部門が好調に推移し、売上高は4,426百万円（前年同期比10.4%増）、営業利益は336百万円（同100.6%増）となりました。

部門別では、オフィスインテリア部門につきましては、大都市圏においてはリニューアル需要の回復の兆しがみられたとともに、最適なオフィス空間のあり方を提案してまいりましたが、その他の地域においては投資抑制の影響もあり、売上高は612百万円（同7.4%減）となりました。店舗インテリア部門は、飲食業界の人手不足による新店舗、リニューアル需要の減少を予測して、レジャー産業への新規顧客開発に努めました結果、売上高は982百万円（同3.3%増）となりました。施設インテリア部門は、毎年全国主要都市で開催している医療・福祉施設のユーザー向け展示会効果や海外観光客の増加により、施設の大型リニューアル案件も多く、売上高は2,560百万円（同22.4%増）となりました。ホームインテリア部門の売上高は、128百万円（同16.1%増）となりました。

#### 放送・通信事業

放送事業では、新規契約時及びシンプルコース利用者に対し、お試し視聴キャンペーンで全チャンネル視聴の機会をつくり多チャンネル番組を幅広く周知することや、放送に加え通信・電話のトリプル契約者にタブレット端末を呈するクリスマス大相談会を開催するなどして顧客の囲い込みを図りましたが、転居や他社への契約変更による解約もあり契約数は伸び悩みました。

通信事業では、大手通信事業者との競争が依然厳しく、サービス面での差別化が求められておりますが、契約者の通信利用環境も近年大きく変化して上位回線のトラフィック増大に対応しなければならず、回線容量を従来の5倍に増やして障害発生リスクに備える計画を進めております。

これらの施策に加え、コスト削減に努めました結果、放送・通信事業における売上高は620百万円（同3.5%減）、営業利益は91百万円（同5.4%増）となりました。

( 2 ) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は以下のとおりであります。

総資産については、前連結会計年度末に比べて355百万円減少し、31,795百万円となりました。流動資産は15,609百万円となり、主なものは現金及び預金9,529百万円、受取手形及び売掛金4,985百万円であります。固定資産は16,186百万円となり、主なものは建物及び構築物3,194百万円、投資有価証券6,741百万円であります。

負債については、前連結会計年度末に比べて1,015百万円減少し、8,426百万円となりました。流動負債は5,543百万円となり、主なものは電子記録債務1,975百万円、支払手形及び買掛金1,504百万円であります。また、固定負債は2,883百万円で、主なものは役員退職慰労引当金1,840百万円であります。

純資産については、前連結会計年度末に比べて660百万円増加し、23,369百万円となりました。自己資本は20,523百万円となり、自己資本比率は64.5%となりました。

( 3 ) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

( 4 ) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、376千円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	47,893,000
計	47,893,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成27年1月20日)	提出日現在発行数(株) (平成27年3月6日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引 業協会名	内容
普通株式	12,976,053	12,976,053	名古屋証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	12,976,053	12,976,053		

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成26年10月21日 ~ 平成27年1月20日	-	12,976	-	6,362,498	-	5,401,276

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年10月20日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年10月20日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 2,773,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,122,000	10,122	
単元未満株式	普通株式 81,053		
発行済株式総数	12,976,053		
総株主の議決権		10,122	

(注) 単元未満株式には自己保有株式477株が含まれております。

【自己株式等】

平成26年10月20日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社オリバー	愛知県岡崎市藪田一丁目1番地12	2,773,000		2,773,000	21.4
計		2,773,000		2,773,000	21.4

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成26年10月21日から平成27年1月20日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年10月21日から平成27年1月20日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年10月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年1月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,505,098	9,529,320
受取手形及び売掛金	4,816,029	4,985,786
有価証券	-	200,000
商品及び製品	274,426	325,698
原材料及び貯蔵品	165,565	190,610
繰延税金資産	281,829	129,001
その他	475,939	262,028
貸倒引当金	11,810	12,819
流動資産合計	16,507,079	15,609,625
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,285,677	3,194,806
機械装置及び運搬具(純額)	348,060	322,199
土地	3,065,984	3,063,838
リース資産(純額)	44,357	32,813
その他(純額)	121,667	119,817
有形固定資産合計	6,865,747	6,733,475
無形固定資産		
その他	85,189	117,729
無形固定資産合計	85,189	117,729
投資その他の資産		
投資有価証券	6,101,028	6,741,974
保険積立金	1,868,035	1,872,890
その他	805,906	802,162
貸倒引当金	81,932	81,932
投資その他の資産合計	8,693,038	9,335,094
固定資産合計	15,643,975	16,186,299
資産合計	32,151,054	31,795,925
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,767,752	1,504,624
電子記録債務	1,816,484	1,975,314
短期借入金	1,150,000	1,150,000
未払法人税等	683,725	47,672
賞与引当金	305,741	96,600
役員賞与引当金	15,948	3,987
その他	1,040,013	1,764,813
流動負債合計	6,779,665	5,543,012

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年10月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年1月20日)
<b>固定負債</b>		
繰延税金負債	660,380	869,178
役員退職慰労引当金	1,829,579	1,840,379
退職給付に係る負債	143,974	145,541
その他	28,464	28,133
固定負債合計	2,662,398	2,883,232
<b>負債合計</b>	<b>9,442,064</b>	<b>8,426,245</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	6,362,498	6,362,498
資本剰余金	5,401,276	5,401,276
利益剰余金	9,725,104	9,918,970
自己株式	3,109,589	3,109,651
株主資本合計	18,379,289	18,573,093
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	1,473,985	1,884,457
繰延ヘッジ損益	12,697	22,533
為替換算調整勘定	28,172	42,007
退職給付に係る調整累計額	2,415	1,458
その他の包括利益累計額合計	1,517,271	1,950,457
少数株主持分	2,812,429	2,846,129
純資産合計	22,708,990	23,369,680
<b>負債純資産合計</b>	<b>32,151,054</b>	<b>31,795,925</b>

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月21日 至平成26年1月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月21日 至平成27年1月20日)
売上高	4,652,872	5,048,944
売上原価	3,381,697	3,636,364
売上総利益	1,271,175	1,412,580
販売費及び一般管理費		
運搬費	93,928	94,061
貸倒引当金繰入額	37	1,009
役員報酬及び給料手当	377,791	399,638
賞与引当金繰入額	82,682	86,700
役員賞与引当金繰入額	3,987	4,106
役員退職慰労引当金繰入額	13,329	13,412
退職給付費用	4,013	8,675
減価償却費	38,472	35,862
その他	395,208	334,085
販売費及び一般管理費合計	1,009,451	977,552
営業利益	261,723	435,027
営業外収益		
受取利息	6,221	7,074
受取配当金	33,295	40,729
デリバティブ評価益	21,454	23,525
通貨スワップ等評価益	11,262	-
その他	21,350	22,728
営業外収益合計	93,582	94,057
営業外費用		
支払利息	3,192	1,569
通貨スワップ等評価損	-	1,799
その他	801	12
営業外費用合計	3,994	3,381
経常利益	351,311	525,702
特別利益		
固定資産売却益	621	43
投資有価証券売却益	2,549	934
特別利益合計	3,170	978
特別損失		
固定資産処分損	11,393	-
会員権評価損	6,550	-
特別損失合計	17,943	-
税金等調整前四半期純利益	336,538	526,681
法人税、住民税及び事業税	54,650	50,109
法人税等調整額	90,764	152,701
法人税等合計	145,414	202,810
少数株主損益調整前四半期純利益	191,124	323,870
少数株主利益	37,195	38,180
四半期純利益	153,928	285,689

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月21日 至平成26年1月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月21日 至平成27年1月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	191,124	323,870
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	352,827	413,688
繰延ヘッジ損益	13,794	9,836
為替換算調整勘定	13,117	13,835
退職給付に係る調整額	-	956
その他の包括利益合計	379,739	436,402
四半期包括利益	570,863	760,272
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	530,951	718,875
少数株主に係る四半期包括利益	39,911	41,397

【注記事項】

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

なお、この変更に伴う当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金並びに当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 当社において、過去に行われた取引の一部に関して架空・循環取引及び不適切な会計処理が行われていたことから、今後予想される当該取引による資金負担を精算するため、当社における資金の未決済額が、以下のとおり含まれております。

	前連結会計年度 (平成26年10月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年1月20日)
流動負債		
その他		
未払金	76,774千円	76,774千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月21日 至平成26年1月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月21日 至平成27年1月20日)
減価償却費	164,894千円	142,902千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年10月21日 至 平成26年1月20日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の 原資
平成26年1月17日 定時株主総会	普通株式	91,843	9.00	平成25年10月20日	平成26年1月20日	利益 剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年10月21日 至 平成27年1月20日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の 原資
平成27年1月15日 定時株主総会	普通株式	91,823	9.00	平成26年10月20日	平成27年1月16日	利益 剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成25年10月21日 至 平成26年1月20日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	家具・イン テリア事業	放送・通信 事業	計				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	4,007,527	642,860	4,650,388	2,484	4,652,872	-	4,652,872
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	31	1,976	2,007	-	2,007	2,007	-
計	4,007,558	644,837	4,652,395	2,484	4,654,879	2,007	4,652,872
セグメント利益	167,675	87,209	254,885	1,431	256,316	5,407	261,723

- (注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、牧場事業を含んでおります。  
2. セグメント利益の調整額5,407千円は、セグメント間取引であります。  
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年10月21日 至 平成27年1月20日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	家具・イン テリア事業	放送・通信 事業	計				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	4,426,043	620,207	5,046,251	2,692	5,048,944	-	5,048,944
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	192	1,993	2,186	-	2,186	2,186	-
計	4,426,236	622,201	5,048,438	2,692	5,051,130	2,186	5,048,944
セグメント利益	336,331	91,894	428,226	1,394	429,620	5,407	435,027

- (注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、牧場事業を含んでおります。  
2. セグメント利益の調整額5,407千円は、セグメント間取引であります。  
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月21日 至平成26年1月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月21日 至平成27年1月20日)
1株当たり四半期純利益金額	15円08銭	28円00銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	153,928	285,689
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	153,928	285,689
普通株式の期中平均株式数(千株)	10,204	10,202

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年3月6日

株式会社オリバー  
取締役会 御中

### 有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 安藤 泰行

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 久野 誠一

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社オリバーの平成26年10月21日から平成27年10月20日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成26年10月21日から平成27年1月20日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年10月21日から平成27年1月20日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社オリバー及び連結子会社の平成27年1月20日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれておりません。